**情報Running：読解７：　資料**

日本人はだれが本当の責任者なのかわかりにくいと言われている。

日本人と会議をすると、すぐに「それは本社と相談して」と言わ

れるからだ。その場で決めてくれない。会議に出ている社員ばかり

ではない。社長でさえ、いや日本の首相でさえ、その場で一人で決めることは

できないのである。だれも責任を背負わないのだ。まわりの人々と相談をして、

全員の了解をとって、初めて決定できる。日本人はそれに時間をかける。物事を

決める仕組みが遅いのだ。このことは、よく外国人から批判の対象になってきた。

だれが、責任をとるのかわかりにくいからだ。しかし、私はその批判に対して１

つ言いたい。果たして日本人は無責任なのだろうか。決定システムは個人が責任

を負うのではなく、組織、つまり会社が責任を負うという意味だ。1人の人間の

決定よりも、会社として責任を負うと約束したほうが相手には安心感があるので

はないだろうか。

練習１：キーワードを数えてください

（　　　　　　　　　）→　　　　　　　回

（　　　　　　　　　）→　　　　　　　回

（　　　　　　　　　）→　　　　　　回

練習２：反対の言葉を書いてみましょう

　　　夏　　　　⇔　　　　　　　　　　　大きい　　　⇔

　　　先生　　　⇔　　　　　　　　　　　開ける　　　⇔

　　具体的　　　⇔　　　　　　　　　　　平面　　　　⇔

　　普通　　　　⇔　　　　　　　　　　　単純　　　　⇔

エキスパート　　⇔　　　　　　　　　　ネガティブ　　⇔

練習３：左の文章の中から反対の言葉のペアを探してください。

　　　　　　　　⇔　　　　　　　　　　　　　　　　　⇔

　　　　　　　　⇔　　　　　　　　　　　　　　　　　⇔

練習４：　言い換えの言葉を文章の中から選んでください。

決定システム→

無責任→

練習５：上位語　下位語を考えてみよう！

　　　家具　　　　＞　　　　　　　　　　　牛丼屋　　＞

　　　　　　　　　＞　　　頭痛　　　　　　　　　　　＞　　東洋言語学院

　　　五感　　　　＞　　　　　　　　　　日本語文法　　＞